

深町小学校 一単位時間の流れと本研究の手立て

【着眼1】 ノートに自分の考えを表現させるための手立て

本時実践前

① 既習内容の確実な習得を図る指導の工夫

本時・単元の個人思考の場面で必要となる既習学習・表現方法の学び直し

準備運動・朝自習など
☆プレテスト・説明力アッププリント
前学年の評価テストなど

本時実践

既習学習の想起と既習の問題との比較→
見通しの話し合い・板書
☆見通しの板書・掲示物・ICTの活用など

①問題把握

② 算数的活動から算数ノートへの表現を結ぶための工夫

②個人思考

児童の言葉でめあてを設定
☆めあての板書・思考の手順・掲示物
机間指導による即時評価

【着眼2】 ノートを活用して話し合わせるための手立て

①ノートで比べ合い、見直しができるための「みんなで学ぶ」学び方のモデルの活

③ペア・グループ思考

話し手：ノートを見せて指さしながら説明する。
聞き手：ノートを見ながら聞き、必ず質問する。
☆ペア学習の型・3分間の確保

③‘集団思考

②ノートの考え方から、数学的な考えへと導くための教師の働きかけのあり方

④適用問題

本時ねらいに合った考えを取り上げる。→数と図のリンク→取り上げた相違点や共通点へ着目、既習学習との比較など→キーワード
☆発問の工夫、キーワードの黄色での板書、掲示物、ICTの活用、まとめの板書

⑤まとめ

⑥練習問題

定着の程度を、指導者と児童が評価するために大切な活動、時間を見つけて振り返りを書く習慣を身につけると、個性豊かなノートにつながる？
☆机間指導による即時評価、振り返りの書き方の掲示

次時実践へ